



救助服一式購入

実施設計書

物 品 番 号 警防需第9号

納 入 場 所 兵庫県西脇市野村町1796番地の502 (北はりま消防本部)

業 務 概 要 救助服一式の購入

北はりま消防組合





## 救助服一式購入仕様書

北はりま消防本部（以下「消防本部」という。）が購入する救助服一式の仕様は、次のとおりとする。

### 1 品名・数量

(1) 救助服（上衣） 20着

(2) 救助服（ズボン） 20着

※ 夏用・冬用については、消防本部と調整すること。

### 2 条件

(1) 救助服は、救助隊員が着用する物件であり、救助活動に適するものであること。

(2) この救助服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

### 3 納入期限

令和6年12月20日(金)まで

### 4 納入場所

兵庫県西脇市野村町1796番地の502（北はりま消防本部）

### 5 仕様

救助服一式は、次の規格及び性能を有する製品又は同等品以上とすること。同等品以上で応札する場合は、必ず質問期間中に仕様が確認できる資料を添付して質問すること。

#### (1) 型式

##### ア 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）、脇下ベンチレーション、肩章付き、左右胸は両玉縁ファスナー付きポケット、右胸は階級台マジック付き、肘は刺し子付き、袖口はファスナー水かき付き、前後身頃切り替え部・肩部に刺し子加工、裾はシャツ式、左肩にワッペン台座付きとする。

##### イ ズボン

前立てにファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドにファスナー付きアウトポケット、膝・脇・後身・股下部に刺し子加工とする。

#### (2) 表生地

表生地にあつては、公的機関で行ったJIS規格による各種試験結果を、納品時に提出すること。

ア 夏用は、東レNX4848R(C/#オレンジ)、難燃ストレッチトロピカル又は同等品以上とすること。

イ 冬用は、東レNX4040R(C/#オレンジ)、難燃ストレッチツイル又は同等品以上とすること。

(3) 条件

ア 針数は、30mm間に飾り・刺しともに10針以上とすること。

イ 縫製糸は、コーネックス40番オレンジ、生地と同色とすること。

ウ 縫製の糸調子は上下ともツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

(4) 縫製要領

ア 上衣

(ア) 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。

裏衿側は、突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護のため、ムシを見せないようにして付ける。

(イ) 前身頃

切替え部分に表生地を2枚重ねし、襟より約150mmの位置まで刺し子加工をする。

前立ては、見返しと縫い合わせるとき、ファスナーを付ける。

表面は、突合わせとし、ファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。

袖ぐり・脇切替え部分には、ダブルステッチをかける。

(ウ) 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付きの切りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。

胸ポケットファスナーは、警笛ヒモ収納等を考慮して閉じて脇側とする。

表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。

両胸ポケット内の脇側に40mm×50mmのペン差し用ループ(2本用)を付けること。

(エ) 右胸階級台座

右胸ポケット位置より約10mm上部に、幅25mm×長さ40mmの階級台座を取り付ける。

左胸に「北はりま消防本部」と紺色で刺繍し、個人名の名札の台座を取り付ける。  
詳細なサイズについては、消防本部担当者と協議すること。

(d) 肩章

幅約 55 mm、長さ約 145 mm、衿ぐり側は台形型とする。

肩先側は、二つ折りし、肩先から 10 mm 幅の長方形のステッチの中へクロスステッチをかけ、身頃に縫い止め、衿ぐり側へ 35 mm 離れた所にダブルステッチで身頃に縫い止め、先は釦止めとする。

(e) 後身頃

後身頃は、肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせ、ダブルステッチを後身頃側にかける。

衿付位置から袖付下部まで表地を 2 枚重ねし、刺し子加工をする。

後身頃上部に 3 段にて、上段「HYOGO」、中段「KITAHARIMA」を斜体、下段「RESCUE」を、消防本部指定色にてプリントする。

(f) 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。

脇下側布の上端先は、オーバーロックの二つ折りに始末し、ダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折りに始末し、ダブルステッチをかける。

前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃及び袖側にダブルステッチをかける。

(g) 袖・ワッペン台座

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地 2 枚重ねし、刺し子加工を施し肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は、肘上部辺りで切替え 2 枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、標準サイズ、± 30 mm の 3 種類を設け肘当ての位置を調整すること。

左肩先端位置から 80 mm 下に消防本部指定ワッペン台座を縫い付ける。

(h) 肘刺し子

左右の肘に、ダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

(i) 袖口

後袖の袖口に両玉縁でファスナー長さ約170mmを付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。

水カキは、カフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は、三つ折りに始末しステッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

ファスナーは、ロックタイプとする。

(#) 裾

シャツ型とし、三つ折りに始末し、ステッチで押さえる。

(シ) 片布・サイズ表示・品質表示

片布は、左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

(ス) 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

(セ) 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

イ ズボン

(フ) 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2か所切替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。

ファスナー下から裾まで切替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

(イ) 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ、左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。

見返し奥の裁ち目は、芯とともにオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に、持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目に、ファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏ともに表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末する。

(ロ) 膝当て

表地2枚を重ね、刺し子加工をし、周囲をダブルステッチで付ける。

身長により膝位置が変わるため、850mmハーフ、950mmハーフの2種類で膝当ての位置を調整すること。

(エ) 内股

前ファスナーから前切替え線の、膝位置までの上部に、刺し子加工をした布をダ

ブルステッチで付ける。

(カ) 後

後身は、ウエストより裾まで切替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から尻部下部まで、刺し子加工を施した表地を重ね、ダブルステッチで押さえる。

(キ) ウエスト

ウエスト内側は、マーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

(ク) ベルトループ

ベルトループ幅は約90mm、通し幅は約60mmとし、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は、約10mm下げて縫い、下側は、ダブルステッチで身頃に縫い止める。

後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ、下端は剣先型とする。

上端は、約10mm下げて縫い、下側は、剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

(ケ) アウトポケット

左右脇のアウトポケットは、幅190mm、長さ250mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口は、ファスナー開き170mmの突合せとし、両玉縁の上下端は、コバステッチをかける。ただし、ハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口を斜めとし、ファスナーは、閉じて尻側とする。

ポケット付け位置は、上記を考慮し、上端から約240mmの位置に付ける。

(ク) 脇

前後身頃の切替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

(コ) 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

(カ) 裾

裾は、シングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、内周に絞り紐を付け、かかとへの引っ掛けゴム付きとする。

(シ) 片布

片布は、左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟



む。

(x) 警告表示

警告表示を、右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

6 寸法表

救助服上衣サイズ表

(出来上がり寸法 単位：c m)

部位 サイズ	着 丈	胸 囲	胴 囲	裾 丈	ネック回り
S	73	101	99	79	46
M	75	105	103	81	47
L	77	111	109	84	48
L L	80	117	115	86	50
3 L	81	123	121	89	51
4 L	84	129	127	91	53
5 L	86	135	133	94	54

救助服ズボンサイズ表

(出来上がり寸法 単位：c m)

部 位 サイズ	ウエスト	ヒ ッ プ	わたり幅	股 下
S	75	100	33	79
M	79	104	34	79
L	83	108	36	79
L L	87	112	37	79
3 L	91	116	38	79
4 L	95	120	40	79
5 L	99	124	41	79

7 検査及び引渡し

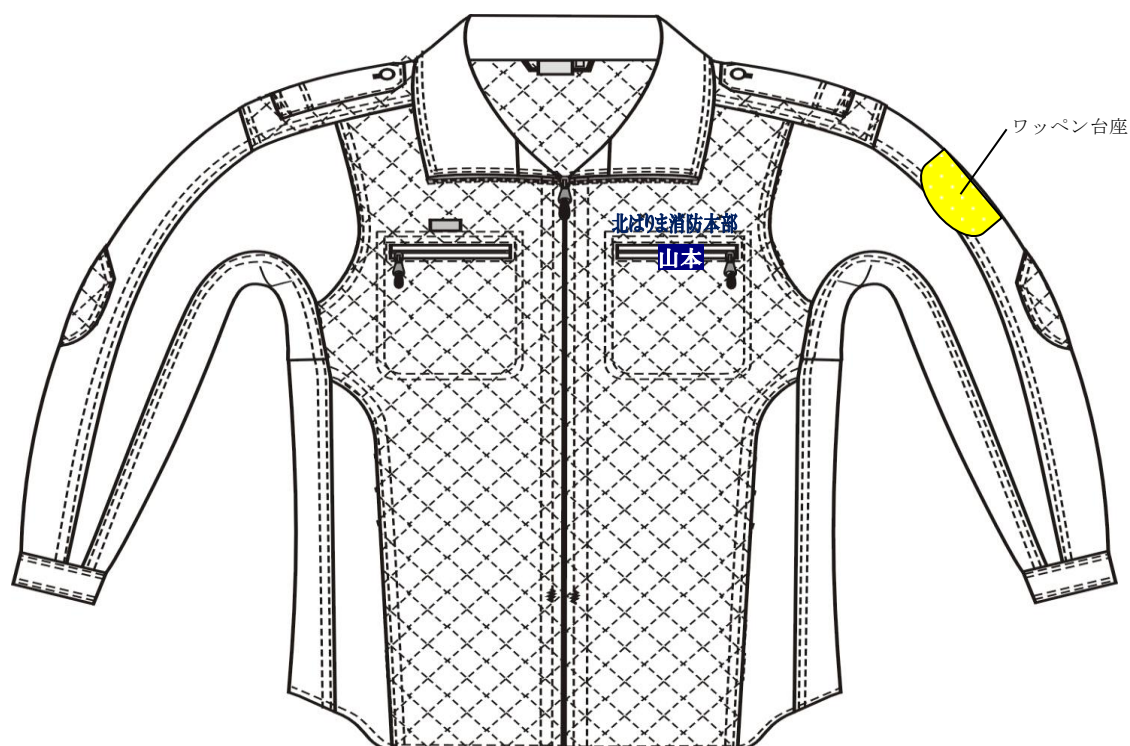
- (1) 本製品は、納入場所において消防本部担当者が検査を行い、検査に合格した後引渡しを受ける。

- (2) 検査時において指摘箇所があった場合でも、納入期限までに補修、調整が行えるように、納入は十分余裕日数をもった時期とすること。

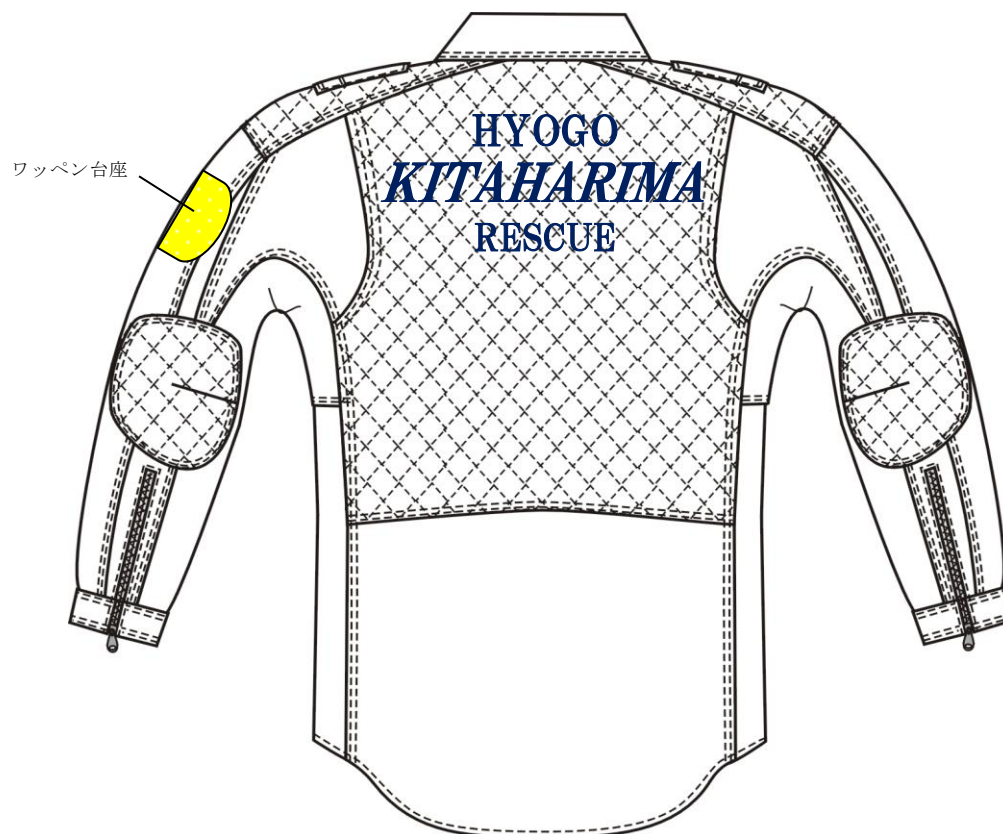
## 8 その他

- (1) 初期不良については、納入業者において無償で修理又は取替えを行うこと。
- (2) 納入物品に係る運送費及びその他の経費は、全て契約業者の負担とする。
- (3) 受注業者は、消防本部担当者と十分打合せをすること。
- (4) 各サイズの現品見本により、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定すること。ただし、別寸等については、適正な寸法に仕上げるものとする。
- (5) 梱包は、上衣・ズボンを1セットごとに収納した上で、所属ごとの数量（別途指示する。）に仕分けし、段ボール箱に収納すること。  
なお、数量・サイズ内訳及び納入場所を箱の外部に明記すること。
- (6) この仕様に疑義が生じた場合、又は記載のない細部事項若しくは軽微な変更については、消防本部担当者と協議の上、決定する。

救助服（上衣）【正面】

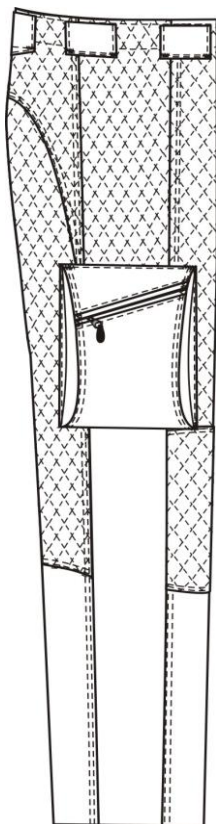


救助服（上衣）【背面】

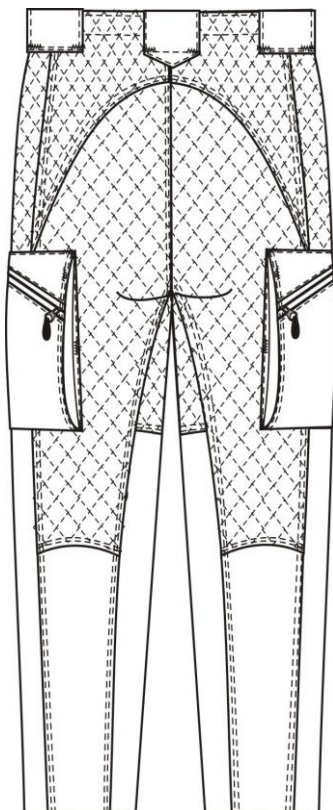


救助服（ズボン）

【側面】



【背面】



【正面】

